

◆感染対策活動職員表彰で表彰されました。

平成24年3月13日、広島大学病院感染対策活動職員表彰の歯科領域で歯周診療科 柴秀樹歯科医師と臨床支援部 松井加奈子歯科衛生士が表彰されました。

歯科領域におけるHIV患者を含めた感染症患者に対する診療環境整備に貢献したとしての受賞でした。お二人はHIV患者さんの歯科診療や、医療従事者向けHIV講習会や会議等を開催され活躍されています。表彰状が医療安全管理部長の谷川攻一先生から手渡されました。表彰おめでとうございます。



目次

感染対策活動職員表彰	1
国立国際医療研究センター病院でHIVコーディネーターナースコースの研修報告	1~3
平成24年度HIV研修会・会議スケジュール	4



◆国立国際医療研究センター病院エイズ治療研究開発センターでHIVコーディネーターナースコースの研修を受けてきました。 エイズ医療対策室 看護師 鍵浦 文子



平成23年12月5日～12月22日に、新宿にある国立国際医療研究センター病院のエイズ治療研究開発センター（ACC）で3週間研修を受けてきました。

拠点病院という位置づけにあります。毎年3回、そのエイズ診療の担当看護師が集まって会議があり、その内1回は看護管理者とともに会議に出席します。

昨年はその会議が6月17日に開催され、ACCからブロック拠点病院の全担当看護師にコーディネーターナースコースを受講してほしいと要望がありました。

当院はエイズ診療において、中国四国のブロック

(次のページへ続く)

コーディネーターナースコースは、本来は1か月間ですが、私の場合は現職に就いた年に1週間の研修は終えていたので、残りの3週間を受ける必要がありました。以前から、HIV/AIDS看護を実践している看護師に何らかの資格が必要という議論がされています。

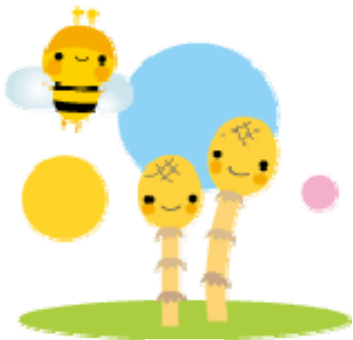


国立国際医療研究センター病院から見えるスカイツリー

しかし、日本看護協会が認定している認定看護師や専門看護師という枠での資格化は、受講者が少ないだろうという予測から研修コースが成り立たない可能性もあり、現時点では日本看護協会の認定という形での資格は見合わせられています。まずは学会の認定として、日本エイズ学会がHIV/AIDS看護の資格を設立できるように動いているようです。

ACCでのコーディネーターナースコース研修を受講しておくことで、その学会認定の資格を取得するときに何らかのメリットとなることも予測されます。

ACCはこれまでの累積患者数が3,000人を超え、月の新規患者数が平均20人位（当院は累積約200人、月の新規患者数は1.5人位）で、日本で最もHIV/AIDSの診療経験がある病院です。コーディネーターナースも一人につき300人～500人くらいの担当患者をみていました。ACCの中にはHIV/AIDSの専門病棟もあり、また同じ院内には結核病棟もありました。



3週間の研修は、新潟大学医歯学総合病院のHIV担当看護師と、大阪医療センターのHIV病棟で働く看護師と3人での受講となりました。以前受けた1週間の研修は、ほとんどがHIV/AIDSの病態治療と看護の講義でしたが、今回の研修では、

ACCでHIV/AIDSを担当しているコーディネーターナースにずっと付いて見学し、2週間目からは私が患者さんの問診をし、それをコーディネーターナースに指導してもらうこともあり、実践に近い内容でした。

ACCには、私のHIV/AIDS看護経験の中で、経験したことがないような背景を持つ患者さんもたくさんおられました。そこで、指導の看護師さんが、そのような方々との面談を特に設定して下さいました。（ちなみに指導して下さいったコーディネーターナースは、私が広島大学大学院の修士に在籍していた時に博士課程に在籍されていた方で以前から顔見知りであり、聡明で指導内容も的確でした。この方のお蔭でより有意義な研修になったと思っています。）



私のこれまでのHIV/AIDS看護の経験の中では見たことがなかった症例で、ACCで勉強させていただいたのは、1) 若年女性、2) 妊産婦、3) ダルクに通っている患者、4) 結核病棟に入っている患者、5) 保険証を持っていない患者、6) 保健師が介入している症例でした。

1) 当院には、30歳代以上の女性は通院していますが、それよりも若い女性は、私は経験がありません。

ACCで面談させていただいたのは、

パートナーにまだHIVに感染したことが伝えられていない患者さんでした。その方にどのようにケアを提供していくか、定期的な受診ができるようになるにはどのようなサポートが必要か、考えさせられるケースでした。

2) 当院でもHIV陽性妊婦の出産はありますが、それは私が就職する前だったので、育児をされているところは知っていますが、出産と育児に向けた準備をどのようにすすめていくか、勉強になりました。

3) 当院でも違法薬物所持で警察に拘留されていた患者さんや刑務所から出てきた患者さんが通院されています。広島にはダルクがなかったこと、薬物専門の精神科医への受診は拒否されたことから、患者さんが薬物を再使用していないかの確認だけを行っていた状態でした。



東京では、依存症を専門とする精神科クリニックで診療とグループミーティングを受けることができ、また都内各地でダルクのミーティングが行われているなど、依存症から脱却するための社会資源がありました。ACCでは、それらの社会資源を積極的に患者さんに勧め、通院できているかどうか等を確認し、HIVの治療も継続できるよう支援されていました。（研修から帰ってきて、広島にもダルクが出来ていたことを知りました。先日、一人の患者さんに広島ダルクを紹介したら、その患者さんも広島にダルクが出来ているのをご存じなかったので喜ばれました。）

4) 当院には結核病棟がないので、排菌している患者さんは近隣の結核病棟を有する病院に治療を依頼しています。

AIDS患者は、薬物アレルギーが出やすいので、抗結核薬の選択も難渋すると聞いていましたが、その様子を、患者さんを通して知ることにより切実な問題だと感じるようになりました。最初に始めた抗結核薬で治療完遂できれば、とても運がいいことのように感じました。

5) 外国人の患者さんで時々問題になるのが、ビザがなく、保険証がないことです。当院にも複数の外国人患者さんが通院されていますが、私は保険証を持たない患者さんの看護経験はありません。

ACCには複数の保険証を持たない患者さんが治療を受けていました。今後も治療を続けていくためにどうやって保険証を取得するか、ソーシャルワーカーや医事課の担当者と共にコーディネーターが話し合いを行っていました。

6) 私のこれまでの経験の中では、訪問看護を利用しているケースはありましたが、保健師が継続して介入しているケースは経験がありませんでした。

しかし、ACCでは、産後にケアをしてもらうために地域の保健師に自宅訪問をしてもらうケースや、精神疾患もある患者さんが保健所へ通って、直接監



視下で服薬を継続しているケース、結核治療中で抗結核薬と抗HIV薬を直接監視下で服薬を継続しているケースがありました。いずれのケースも保健師との連携もスムーズにされていました。

地方になればなるほど、地元の保健師へHIV感染が伝わることに恐れを抱く患者さんは多いと思いますが、保健師が介入することで本人にメリットがあることを説明できれば、患者さんも受け入れてくれるケースも増えるのではと思います。

この研修では、コーディネーターナースとしての実習だけでなく、入院患者及び外来患者のカンファレンスに参加したりし、私がこれまで経験のない日和見感染症の話聞くことが出来、とても有意義な時間となりました。

3週間、実務を離れて研修を受けることで、広大病院の患者さんやスタッフにはご迷惑をおかけしました。この研修を受けたことを患者さんへのケア及び、中国四国ブロック内のHIV担当看護師への相談対応に生かしていきたいと思います。



上段左から: 国立国際医療研究センター病院 池田さん、伊藤さん、杉野さん、小山さん、武田さん
下段左から: 鍵浦さん、新潟医歯学総合病院 川田さん、大阪医療センター 鈴木さん

<ご意見募集>

ご意見やご希望がございましたら、
エイズ医療対策室 (内線5351)
までお寄せください。



平成24年度中国四国ブロック HIV研修会・会議スケジュール



お問い合わせ：広島大学病院 エイズ医療対策室
TEL&FAX：082-257-5351(直通)
<http://www.aids-chushi.or.jp/>

☆ 出張研修については、随時ご相談ください。

医師	平成24年9月16日（日） 第6回 医師のためのエイズ診療従事者研修 広島大学病院（広島市）
歯科医師	平成24年10月28日（日） 第3回 中国四国地方HIV陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議 広島大学病院（広島市）
	平成24年12月2日（日） 平成24年度歯科医療従事者向け講習会 会場未定（福山市）
薬剤師	平成24年7月21日（土）・7月22日（日） 第29回 抗HIV薬服薬指導のための研修会 ひろしま国際ホテル（広島市）
	平成25年1月12日（土）・13日（日） 第30回 抗HIV薬服薬指導のための研修会 ひろしま国際ホテル（広島市）
看護師	平成24年7月2日（月）・3日（火） 第23回 看護師のためのエイズ診療従事者研修 広島大学病院（広島市）
	平成24年7月23日（月）・24日（火） 第24回 看護師のためのエイズ診療従事者研修 広島大学病院（広島市）
	平成25年1月26日（土） 第8回 看護師のためのエイズ診療従事者研修 アドバンストコース 広島大学病院（広島市）
香川県内 在宅・療養・緩和ケア看護師	平成24年6月16日（土） HIV/AIDSケアセミナー（在宅・療養・緩和ケア看護師向け） サンポートホール高松（高松市）
心理職	平成24年8月25日（土） 平成24年度心理職対象HIVカウンセリング研修会（初心者向け） サンポートホール高松（高松市）
心理職 福祉職	平成24年7月21日（土）・7月22日（日） 平成24年度第1回 HIV/AIDS専門カウンセラー研修会 ひろしま国際ホテル（広島市）
	平成25年1月12日（土）・13日（日） 平成24年度第2回 HIV/AIDS専門カウンセラー研修会 ひろしま国際ホテル（広島市）
ソーシャルワーカー	平成24年10月6日（土）・7日（日） 第8回HIV/AIDSソーシャルワーカー・ネットワーク会議 三原国際ホテル・県立広島大学（三原市）
四国地方	平成24年5月26日（土）・27日（日） 平成24年度四国地方エイズ拠点病院コミュニケーションスキル向上のための会議 高知会館（高知市）